

# 公開事例検討会

生活期を考えた言語訓練

～重度失語症者に ST が今出来ること～

私たち臨床家の症例検討会は言語訓練を構築する上で根幹たるものであり、その重要性は決してゆらぐものではありません。今回、介護老人保健施設に勤務する臨床経験 7 年目の言語聴覚士が事例報告を行います。特別養護老人ホームへの入所を待つ期間、介護老人保健施設では、どんな言語訓練を行うべきであるのか？あるいはコミュニケーションの環境調整はどうするのか？など、生活期のみならず、急性期や回復期に勤務する言語聴覚士にとっても臨床を掘り下げる場になればと願っております。皆様でディスカッションを楽しみましょう。ご参加を心待ち致します！！

**日時** : 2016 年 5 月 15 日(日)14 時 10 分～16 時 00 分

**会場** : A 会場

**症例紹介者** : 牧 達人氏(介護老人保健施設わかくさ)

**コメンテーター** : 上杉 由美氏(介護老人保健施設 ピースプラザ)

高橋 真知子氏(ケアサポート まてい)

**司会** : 土橋 三枝子氏(虎の門病院)

廣實 真弓氏(帝京平成大学)

## こんな方におすすめです！！

- 生活期の臨床に興味がある
- 今まさに生活期で臨床を行っている
- 重度失語症の訓練に行き詰まっている
- 急性期にいて生活期のイメージがつかない
- ベテラン ST の臨床感を学びたい